（1）　明治20年創刊　第36440号（第3種郵便物認可）　THE JOMO SHINBUN　1996年（平成8年）8月22日（木曜日）（日刊）

上毛新聞
発行所（〒371）前橋市古市町1-50-21
上毛新聞社
電話 市外局番（0272）
（編集）54-5077（広告）54-9944
（販売）54-3131（印刷）54-9955
（編集）54-9933（広告）54-9966
（制作）54-9985（事業）54-9984
（総合案内）54-5911
© 上毛新聞社 1996

渇水 東毛を直撃

渡良瀬系水 40%取水制限

草木ダムの水が底をつきそうな渡良瀬川で二十一日、利根川水系では過去最高の四〇%の取水制限が始まった。新田町と藪塚本町の全水田中学校九校と新田町民プールが閉鎖、桐生市や藪塚本町の喝水もストップした。農作物の被害も深刻。藪塚本町のヤマト芋農家は水不足による芋の生長不良を心配する一方、下流の邑楽町などでは根期の水田に水が行き渡らない影響も出始めた。前橋地方気象台によると、今月はのまと まった雨は期待薄。本県と栃木県、建設省などでつくる渡良瀬川水利使用調整連絡協議会は二十一日、新たな取水制限の強化を検討する。今後は断水など市民生活に直接する影響も心配される。

プール閉鎖、噴水ストップ

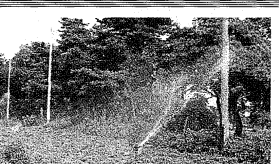
新田、藪塚など

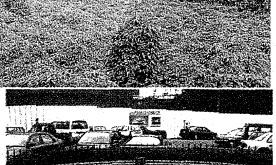
ヤマト芋の生長不良心配

藪塚

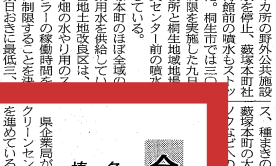
水田の均等配水も限界に

下流域


ストップしている桐生地域地場産業振興センター前の噴水


ヤマト芋を潤すスプリンクラー。数日おきに3、4時間の稼働が必要とされるが、21日から2時間に制限された＝藪塚本町藪塚

干上がった新田公園の噴水。藪塚本町の中央公園の噴水も止まった


干上がった桐生市の市民プール。藪塚本町の中央公園の噴水も止まった

取水制限は同日午前九時、渡良瀬川の上流にある草木ダムの水位が、貯水容量の四〇%程度に低下したことを受けて、関東地方建設局が発表した。

ダムの水位は、ここ一週間、一日平均一センチ程度の低下が続いていた。今月に入ってからは、ほとんど雨が降らず、ダムへの流入量は、毎秒一・二トンと、通常の三分の一程度に減少。ダムの貯水量は、一日の放流量を下回る状態が続いていた。

同局によると、ダムの貯水量は、二十一日午前九時現在、約二百万トンで、ダム容量の二〇%を切った。

取水制限は、ダムの下流、桐生市、太田市、藪塚本町、新田町、大泉町、邑楽町、館林市の一市一町一村が対象。

利根川水系の取水制限は、昨年の渇水時に、利根川上流の矢木沢ダムなどが、貯水量の二〇%を切ったことから、今年六月、初めて実施された。

今年は、梅雨が明けても、雨が降らず、利根川上流の矢木沢ダムなどの貯水量が、二〇%を切ったことから、今月二日、初めて取水制限が実施された。

今回の取水制限は